

令和3年度事業報告書

1. 地球環境の保全に関する普及啓発、環境教育及び国際貢献事業

(1) 生活環境等、環境保全に関する普及啓発事業

これまで、生活環境に密着した環境保全に関わる科学技術等の普及啓発と調査研究推進のために、環境への興味・意識を高める身近な題材を取り上げ、わかり易い標題と内容で、暮らし、食・農・林や健康に関わる勉強会などの普及啓発事業を行ってきた。しかし、新型コロナウイルス感染拡大防止による各種イベントの自粛要請に基づき、環境ゼミナールは開催を自粛した。

◆具体的実施状況

環境ゼミナール2回

《最近の開催内容》

- ・第282回環境ゼミナール（2021年4月7日（水）開催）
テーマ：eco さろん（C.W.ニコル氏を偲んで）/場所：日本環境・有機農法振興財団/参加者2名/内容：過去に当財団と関係があったC.W.ニコル氏の業績を振り返りながら懇談会を予定したが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため資料配布のみとした。

 - ・第283回環境ゼミナール（2021年4月21日（水）開催）
テーマ：eco さろん（食と環境①）/場所：日本環境・有機農法振興財団/参加者：2名/内容：フードロスと環境への影響についてディスカッションを予定したが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため資料配布のみとした。

 - ・第284回環境ゼミナール（2021年7月7日（水））
テーマ：eco さろん（食と環境②）
 - ・第285回環境ゼミナール（2021年9月1日（水））
テーマ：eco さろん（食と環境③）
 - ・第286回環境ゼミナール（2021年9月15日（水））
テーマ：eco さろん（食と環境④）
- 以上3回については新型コロナウイルス感染拡大増加のため中止とした。

(2) 生活環境等、環境保全に関する環境教育事業

これまで、環境への責任意識を高めるための体験型イベントなどの環境教育事業を行ってきたが、新型コロナウイルス感染拡大防止による各種イベント自粛要請に

(2) 環境研究支援助成事業

個人及び団体などの生活環境改善（省エネ・リサイクル、食・農・林など）や環境保全のための優れた調査・研究に対する研究資金の助成支援事業を行った。

◆具体的実施状況

当財団ホームページにて募集を図ったところ、5件の応募があり、研究助成金運営委員会において審議した結果1件を採択し、研究助成として500,000円を支援した。これらの成果については、助成研究実績報告書を令和4年5月末日までに提出・報告するものとし、理事会にて報告後、開示の申告があった際は個人情報に影響がない範囲で事務局にて対応するものとする。

◇令和3年度採択研究

- ・黒米と黒大豆を原料にした黒味噌に含まれる非ペプチド性分子による血圧低下作用（大阪府立大学）

以上